

7/16 季刊

役員報酬1億円以上 544人

■2021年3月期役員報酬順位

順位(前年)	企業と氏名	報酬総額(前年)
1 (一)	ソフトバンク・グループ サイモン・シガース	18億8200万円 (一)
2 (3)	武田薬品工業 クリストフ・ウェバー	18億7400万円 (20億7300万円)
3 (2)	ソフトバンク・グループ マルセロ・クラウレ	17億9500万円 (21億1300万円)
4 (5)	トヨタ自動車 ディディエ・ルロワ	14億5100万円 (12億3900万円)
5 (8)	ソニー・グループ 吉田憲一郎	12億5300万円 (10億2300万円)
6 (4)	ソフトバンク・グループ ラジーブ・ミスラ	9億3100万円 (16億600万円)
7 (12)	ソフトバンク・グループ ロナルド・フィッシャー	9億1700万円 (6億8000万円)
8 (7)	武田薬品工業 アンドリュウ・プランプ	9億1100万円 (10億4600万円)
9 (14)	東京エレクトロン 河合利樹	9億200万円 (6億6100万円)
10 (10)	信越化学工業 金川千尋	7億3100万円 (7億4600万円)

(東京商工リサーチ調査から作成)

過去2番目の多さ

東京商工リサーチ

民間信用調査会社の東京商工リサーチが14日発表した2021年3月期決算「役員報酬1億円以上開示企業」調査の最終結果によると、1億円以上の役員報酬を開示した企業数は前年比4社減の253社、役員数は11人増の544人でした。役員数は、10年3月期の開示以来、19年の571人に次ぐ2番目。544人の

報酬総額は1092億9800万円(前年1084億2900万円)で、前年を0.8%上回りました。

3位はソフトバンク・グループのマルセロ・クラウレ副社長の17億9500万円(前年21億1300万円)。日本人役員

全証券取引所の上場企業2383社(未提出5社を除く)を対象に、有価証券報告書で役員報酬1億円以上を個別開示した企業を集計しました。

1位は日立製作所の15人(前年18人)で、2年連続で最多。2位は三菱UFJフィナンシャル・グループの11人(前年10人)、3位は三井物産(前年8人)と大和証券グループ本社(前年5人)の9人。

報酬総額1位は、ソフトバンク・グループのサイモン・シガース取締役の18億8200万円(2年ぶりに開示)でした。2位は武田薬品工業のクリストフ・ウェバー社長(前年18億7400万円)の前年20億7300万円、